

しがたい

# Challengers

学業や課外活動のほか、さまざまなシーンで  
自身の可能性を切り拓く学生の声をお届けします。

## My challenge

### 大学院進学

#### 退学を考えた時期を経て 学びの意欲を取り戻す

大学に入学後、慣れない環境と授業の難しさから気がつけば留年が決まっていました。もう大学を辞めようかとも悩んでいた時に、現在参加しているゼミの教授から声をかけていただき、心機一転。ゼミで発表される先輩たちの研究の数々に「自分も同じ世界に立ちたい」と強く感じ、大学院の進学を決心しました。大学院の試験には、TOEICの得点と、2つの資格に合格する必要がありました。当時、自分はそんな資格を持ち合わせておらず、進学を決心してから半年間、ひたすら勉強に励みました。その結果、大学院には成績優秀者として奨学金をもらえるほどの好成績で合格できました。

#### 研究開発を進めて ロボットと自然な会話を

自分がこれだけの勉強ができたのは、教授やゼミの仲間が勉強、研究の楽しさ、大切さを教えてくれたからだと思っています。私は現在、大学に設置してあるPepperが人とより便利に会話できるための研究開発を行っています。彼がどのような質問を受けても答えられるよう、会話に必要な対話構造を開発することが目標です。この研究を通して成果を得ることはもちろん、研究の楽しさを後輩に伝えられるように尽力していきたいと思います。

成果を出し、  
追求する楽しさを伝えたい

データサイエンス学部

間宮 壮太 関高校(岐阜県)

